

明治期福井の地方新聞の教材化

田川 雄一*

はじめに

1. 公開した新聞の概要
2. 活用できる記事と利用について
3. 活用案
 - (1) 新聞ワークシート
 - (2) タブレット端末を利用した活用案
 - (3) 新聞記事検索の活用

おわりに

はじめに

2020年4月、福井県文書館では明治前期の地方新聞約1,800日分について、約7,200件の画像データをインターネットで公開した。これは著作権保護期間が満了した記事だけでなく、著作権者不明等の記事も文化庁長官裁定制度を用いて公開した全国初の取組みである¹⁾。

新聞記事の内容は、政治・経済から文化・社会分野など様々である。例えば1886年（明治19）9月にコレラが全国的に流行した際には、県内の学校（中学校・師範学校など）が始業延期となった記事が掲載されている²⁾。また、同年のノルマントン号事件に際しては、犠牲者遺族に向けて県内で義捐金が集められた記事が掲載されている³⁾。

当時の新聞記事は、一部に旧字体や変体仮名が含まれているものの、中高生でも十分読解が可能である。またインターネット環境があればどこでも閲覧でき、ダウンロードして教材として加工することも容易である。

子どもたちにとって、100年以上前の郷土の新聞に触れることは貴重な機会であり、彼らの興味・関心を喚起することができる⁴⁾。また、新聞記事の読解や要約の作業を通して、近年の歴史学習において重視されている「資料活用能力」の養成にもつながるであろう。

本稿では、まず公開した明治前期の新聞について、当時の県内の政治的動向と合わせて簡潔に概観する。次に、教材として活用できそうな新聞記事を選定し、分野ごとに整理したものを紹介する。最後に、教育現場における新聞の活用案を提案していきたい。

*福井県文書館企画主査

1. 公開した新聞の概要

今回公開した新聞は、1882年（明治15）8月1日～1891年（明治24）6月30日の『福井新聞（第1次）』および『福井新聞（第2次）』である。表1のように「福井新聞」と称する新聞はこれまで4回発行されているが、第1次～3次は現在の『福井新聞（第4次）』とは経営体が別である。

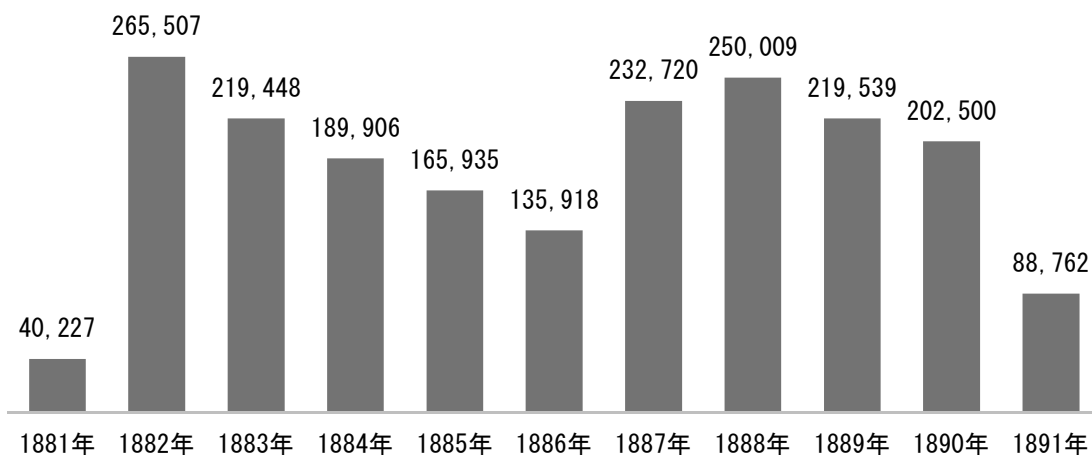
表1 「福井新聞」の変遷

新聞名	刊行期間	発起人・社主
福井新聞（第1次） （1887年「福井新報」と改題）	1881年（明治15）10月16日 ～1889年（明治22）9月29日	第九十二国立銀行重役 旧福井藩士ら
福井新聞（第2次）	1889年（明治22）10月10日 ～1891年（明治24）6月30日	南越倶楽部武生派 中島又五郎ら
福井新聞（第3次） （1897年「大躍起」と改題）	1896年（明治29） ～1901年（明治34）	土生彰
福井新聞（第4次）	1899年（明治32）8月28日～	三田村甚三郎（憲政本党）

注）『福井新聞百年史』（福井新聞社、2000年）、『福井県史』通史編5（1994年）、『福井県大百科事典』（福井新聞社、1991年）より作成。

『福井県史』などによると⁵⁾、『福井新聞（第1次）』の発刊は1881年（明治14）2月の福井県置県を契機として、士族の殖産興業の一環として計画された。第九十二国立銀行の重役および株主であった旧福井藩士らが発起人となり10月16日に創刊、本社は福井佐佳枝中町、紙面は4ページで、定価1部1銭8厘であった。当時は自由党、立憲改進黨などの政党の結成が相次いだ時期であり、全国の新聞のほとんどが政党の機関紙となって言論戦を展開していた。『福井新聞（第1次）』も1882年12月6日付の紙面で、立憲改進黨の機関紙であることを表明している。

いっぽうこの頃の松方デフレによる全国的な経済不況は、『福井新聞（第1次）』の経営にも大きな影響を与え、1883～86年にかけて発行部数を減らし続けた（図表2）。



図表2 福井新聞（第1次、第2次）の発行部数の推移

注）「福井県史統計データセット」（福井県文書館）より作成。

1887年、経営不振からの脱却のため福井の商工層グループが新聞経営に参加し、同年12月には紙名も『福井新報』と改題された。このことは立憲改進黨系につながる旧福井藩士勢力と、自由党系を支持する福井の商工層グループとの連合を意味し、中央の大同団結運動に呼応するものであった。

1889年7月、県内の自由党系の政治勢力が結集した「南越倶楽部」が結成されると、外務大臣大隈重信の条約改正案に対して反対運動を展開し始めた。『福井新報』は立憲改進黨系の立場から可能な限り大隈を支持する態度を表明し続けたが、この姿勢は県内の多くの支持を得ることはできず、同年9月29日発行の新聞を最後に休刊、のちに廃刊となった。

1889年10月10日、南越倶楽部武生派の中島又五郎らを発起人とし、旧『福井新報』スタッフの一部を引き継いで、『福井新聞（第2次）』が発刊された。しかし翌年7月、第1回衆議院議員選挙に立候補した中島が落選すると、南越倶楽部武生派は新聞経営から退き、『福井新聞（第2次）』の県内における政治的影響力は大きく低下していった。新聞経営も悪化の一途をたどり、ついに1891年6月30日の廃刊を迎えることになったのである。

以上、今回公開した『福井新聞（第1次）』、『福井新聞（第2次）』の創刊から廃刊までを概観すると、当時の新聞は県内の政治的動向に大きな影響を受けていることがわかる。新聞を教材として活用する際は、この点をしっかりとふまえておく必要があるだろう。

2. 活用できる記事と利用について

今回公開した新聞（1882年～1891年）の中から、中学・高校の教材として活用できそうな記事を30点選定し、政治・経済・文化・社会の4分野に整理した（表3）。なお、福井県文書館ホームページ内に「授業等で活用できる明治の新聞記事一覧」として同様のデータ（PDFファイル）を掲載した⁶⁾。選定作業の際に留意した点は以下の3点である。

- a 中学・高校での学習内容との関連性
- b 『福井県史』との関連性
- c 現代との関連性

それぞれについて若干補足を加える。まずaについてだが、今回は私自身の教育現場での経験をもとに、おもに中学・高校の授業や「総合的な探究の時間」で活用することを想定し記事を選定した。基準とした教科書は「学校向けアーカイブズガイド」⁷⁾と同様、山川出版社の高等学校用教科書『詳説日本史B』である。中学校で扱うにはやや詳細な内容が多いが、「ノルマントン号事件」関連の記事や、教育関係の記事などは十分活用できるのではないかと考える。

次にbについて補足する。今回の選定作業で大いに参考としたのが、『福井県史』通史編5である。現場の教員が記事を利用する際にも、『福井県史』の記述を参照できれば、教材研究の負担が軽減されるのではないかと考え、一覧表には関連する『福井県史』のページのリンクを掲載した⁸⁾。

最後にcについて補足する。歴史を学ぶ際は、単に歴史的知識を得るだけでなく、過去の教訓を現代に生かしたり、現代社会を生きる自分自身を見つめ直したりすることも重要であると考え。コレラ関係など、教科書等ではあまり扱われない記事を選定しているのもそのような意図がある。

表3 授業等で活用できる明治の新聞記事一覧

No.	分野	単元	記事名	新聞名	年月日	面	段	参考
1	政治	自由民権運動	南越自由党大親睦会の景況	福井新聞 (第1次)	1882年 9月 3日	2	3	県史
2	政治	自由民権運動	福井新聞社の政治的立場の表明 (社説)	福井新聞 (第1次)	1882年12月 6日	1-2	2-3、1-2	県史
3	政治	自由民権運動	新聞紙条例改正(旧条例含む)	福井新聞 (第1次)	1883年 4月24日	1-2	3、1-3	県史
4	政治	条約改正	ノルマントン号事件 (社説)	福井新聞 (第1次)	1886年11月20日	1	2-4	
5	政治	条約改正	ノルマントン号事件遺族への義捐金広告	福井新聞 (第1次)	1886年11月23日	1	3	
6	政治	条約改正	ノルマントン号事件義捐金出資者氏名	福井新聞 (第1次)	1886年11月26日	1	3	
7	政治	憲法の制定	市制・町村制発布 (全国の市と人口)	福井新報	1888年 5月11日	2	1-2	県史
8	政治	憲法の制定	憲法発布の祝宴	福井新報	1889年 2月13日	2-3	3-4、1-3	
9	政治	憲法の制定	大日本帝国憲法全文	福井新報	1889年 2月15日	1-2	3-5、1-2	
10	政治	初期議会	板垣退助来県 (肖像画)	福井新聞 (第2次)	1890年 4月 6日	2	2-4	県史
11	政治	初期議会	第1回衆議院議員選挙当選者	福井新聞 (第2次)	1890年 7月 8日	2-3	1-5、1-2	県史
12	政治	初期議会	自由党・改進黨両党の近状 (社説)	福井新聞 (第2次)	1891年 6月14日	2	1-2	
13	経済	松方財政	生活の質素化につき村規定 (吉田郡)	福井新聞 (第1次)	1885年 3月27日	3	2	県史
14	経済	松方財政	貧民の救済 (社説)	福井新聞 (第1次)	1886年 3月17日	1	1-4	県史
15	経済	松方財政	敦賀・武生間の新道開削事業	福井新聞 (第1次)	1886年10月17日	2	3-4	県史
16	経済	近代産業	三菱汽船会社と共同運輸会社の広告	福井新聞 (第1次)	1885年 6月 2日	4	3	県史
17	経済	近代産業	養蚕伝習生募集 群馬県より講師招聘	福井新報	1889年 4月27日	4	5	県史
18	経済	近代産業	県産羽二重の商況	福井新聞 (第2次)	1890年 9月27日	4	1-2	県史
19	経済	近代産業	輸出羽二重の景況	福井新聞 (第2次)	1891年 6月13日	2	2	県史
20	経済	近代産業	明治20年度労働者賃金(31種)	福井新聞 (第2次)	1890年11月26日	2	1-2	県史
21	文化	思想と信教	蓮如忌行列中の九十九橋落下事件	福井新聞 (第1次)	1886年 5月 4日	2-3	4、1-2	
22	文化	教育の普及	定期試験成績 父兄への注意	福井新聞 (第1次)	1885年 5月24日	2	3-4	
23	文化	教育の普及	福井小学校運動会	福井新聞 (第1次)	1887年10月19日	2	3	県史
24	文化	教育の普及	尋常中学校修学旅行生、松平春嶽に面会	福井新聞 (第2次)	1890年 6月 4日	3	3	県史
25	文化	教育の普及	教育勅語奉読式	福井新聞 (第2次)	1891年 4月 3日	4	1	県史
26	社会	探究学習等	コレラ蔓延 (社説)	福井新聞 (第1次)	1886年 8月 1日	1	1-3	県史
27	社会	探究学習等	コレラよけのお札	福井新聞 (第1次)	1886年 9月22日	3	4	県史
28	社会	探究学習等	コレラ患者数・死者数	福井新聞 (第1次)	1886年10月30日	3	4	県史
29	社会	探究学習等	束髪用のびん付油、香油広告	福井新報	1888年 4月28日	4	3	
30	社会	探究学習等	松平春嶽死去 (肖像画)	福井新聞 (第2次)	1890年 6月 8日	1	2-3	

注) 「デジタルアーカイブ福井」および『福井県史』通史編5により作成。なお、ここで示した新聞画像(30日分)は、福井県文書館が保管しているマイクロフィルムを本稿執筆のために再スキャンしたものであり、他の日付の新聞画像よりも高精細な画像となっている。将来的には、公開したすべての新聞画像(約1,800日分)を高精細画像で提供できるようにしたい。

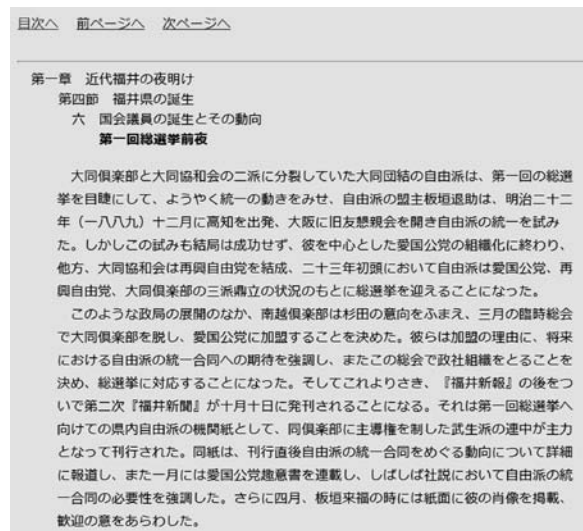
30点それぞれの記事には「デジタルアーカイブ福井」の画像ページのリンクが挿入されており、閲覧したい記事名をクリックするだけで該当の新聞画像ページに移動するようになっている。

例えば、No.10「板垣退助来県（肖像画）」を選ぶと、1890年4月6日付『福井新聞（第2次）』の第2面の画像ページに移動する（画像1）。最初は紙面の全体画像が表示されているので、マウスで紙面の位置を動かしたり、拡大・縮小したりして、記事の掲載箇所を確認する（「板垣退助来県（肖像画）」の場合は2段から4段に掲載）。右下のボタンを押せば、画像のダウンロードや印刷が可能である。ダウンロード・印刷した画像の利用については、福井県文書館への事前申請は不要であり、教材として自由に活用できる⁹⁾。

なお、「県史」をクリックすると、福井県文書館ホームページ内の「デジタル歴史情報」で公開されている『福井県史』の該当ページに移動するので、教材研究の際に参照してほしい（画像2）。



画像1 新聞画像ページの例



画像2 『福井県史』の該当ページの例

3. 活用案

(1) 新聞ワークシート

本章では、教育現場での新聞の活用案を提示する。まずは新聞記事を活用したワークシートの提案である（図1～4）。政治・経済・文化・社会の4分野からそれぞれ1つずつ記事を選び、新聞ワークシートを作成した¹⁰⁾。ワークシートの構成はすべて共通しており、使用する紙面の全体画像と、記事部分を拡大した画像を掲載した。また、「補足・用語解説」欄には、新聞記事の概要や、背景となる歴史事項、難しい用語の解説などを記した。「発問事例」には、記事の要約、関連知識を問うものなど様々なパターンを挙げたが、最後に現代社会と関連づけたオープンクエスチョンを入れている。

4つのワークシートは、「授業等で活用できる明治の新聞記事一覧」（表3）と同様、福井県文書館のホームページにデータ（Word ファイル）を掲載しており¹¹⁾、ダウンロードして使用できる。もちろんこれらを参考に、各学校の生徒の実態に応じたオリジナルのワークシートを作成することも可能である。

図1 新聞ワークシート1「福井新聞の政治的立場の表明」

『福井新聞（第1次）』1882年12月6日1面	A
	<p>ハ田春二東京ヨリ歸リ謹シテ我讀者諸君ニ白ス</p> <p>我福井新聞社ハ福井縣下ノ志士仁人ガ我地方ノ開化ヲ進メシテ爲メ福祉ヲ増サンカ爲メ私利ヲ棄テ私益ヲ顧ミスシテ創立セシトコロニ福井新聞發兌以來既ニ一年有餘ノ星霜ヲ經其社運ノ隆盛今日ヲ致シタルハ實ニ讀者諸君ガ愛養ノ賜ナリト雖亦余輩亦タ自カヲ信ズ直接ニ間接ニ此新聞紙當初發刊ノ目的幾分ヲ達シタルニ依ラズンバアラサル一ヲサレハ今日爾後益々政事社會ノ機運ニ遅クルハ爲サズシテ愈々我新聞紙ノ主義ヲ表明シ讀者諸君ノ高意ニ背カズン一ノ期セサルベカラス抑モ福井新聞社ノ主義ハ今更此ニ叙述スルヲ待タズシテ早ク創立ノ當日ヨリ紙上ニ表明スルトコロニシテ即チ民權ヲ擴張シ自由ヲ</p>
補足・用語説明	B
<p>本記事は、県内の南越自由党の機関紙である「北陸自由新聞」に対抗するために、『福井新聞（第一次）』の政治的立場を改めて読者に表明したものである。</p> <p>・「醫スル」：治す</p> <p>・「氣脈相通シテ」：連絡をとり合つて</p> <p>・「毫モ異ナル、點」：少しも異なる点</p>	<p>（中略）</p> <p>吾人面前ニ横ハリ吾人善良ナル政黨ヲ組織シ我帝室ノ爲メ我國家ノ爲メ之ヲ醫スルノ瞬間ヲ怠タル能ハサルノ事情ヲ呈シタリキ是ニ於テ吾東京大坂其他各地方ノ志士ハ翕然トシテ此ニ奮興シ其政黨團結ニカヲ盡スモノ現ニ顯ハレテ立憲改進黨ト爲リ自由黨ト爲リ日本立憲政黨ト爲リ勤王黨ト爲リ立憲帝政黨ト爲リ客年以前ノ形勢トハ全ク隔世ノ觀ヲ爲シ余輩ヲノゾクカヲ舊伎倆ニ安ンスル能ハザランメリ我社亦タ則チ自由改進ニ熱心スルノ餘溢レテ論説ト爲リ日々讀者諸君ト文壇ニ對スルモノ爲シテ平生ノ主義ヲ同フスル大政黨ト氣脈相通シテ以テ五ニ相重クスルノ計畫ヲ爲スニ躊躇ス可ケンヤ立憲改進黨ハ我社ノ認メテ純正ナル政黨ト爲ストコロニシテ其主義ハ徹頭徹尾我社創立以來我社員ノ筆ニ舌ニ論説スルトコロト毫モ異ナル點アルヲ見サル</p>

＜発問例＞

- 問1 当時の福井新聞社が創刊した年に発せられた勅諭は何か。
- 問2 当時の福井新聞社の主義（役割）について、以下の文の空欄に適する語句を記事から抜き出そう。
「（ ）を拡張し（ ）を伸長し以て我社会の現状を改良せんとする」
- 問3 当時の福井新聞社は特にどの政党を支持していると読み取れるか。
- 問4 現在は、新聞社によって政治的立場が異なっているのだろうか。調べてみよう。

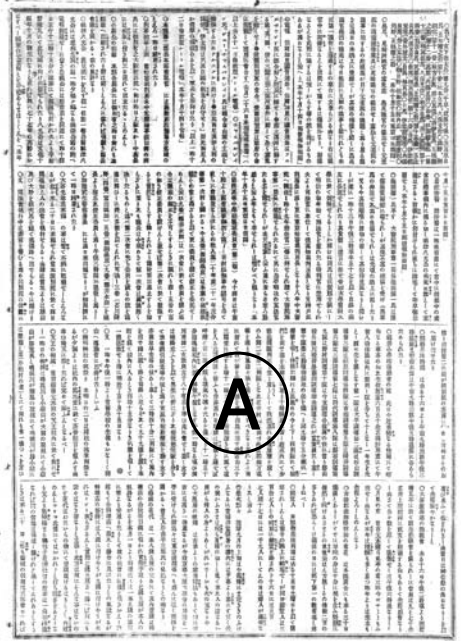
図2 新聞ワークシート2「貧民の救済」

<p>『福井新聞（第1次）』1886年3月17日1面</p> 	<p>A</p> <p>嗚呼言ふも忍びを聞えよ悲はざるをこれ今日不景氣の困難に於て我福井市民は殆んど焼眉の急に迫り現に滿者の於日市の内外に奔走して此商品の賣捌に拮据するも更に販賣の道なく空しく算盤を投じて歎息を工者之製造せんにも注文はるの人の之職業と爲さんにも閑暇と極め三日五日手と空しくして坐食をるのみ況して日雇業者の平時尚ほ今日の勞働以て明日妻子と養ふの糧と造る二日一渉るの餘裕なき貧戸細民に於て是菜大根又ハ麥稗と交へたる雜炊にすら飽く能えぬ未湯不彷彿たる薄粥とすら取ると得て坐して饑と待の慘狀をう是れと以て盜賊の出没を日一繁く乞兒の増殖を月一劇し若し此現況にして數句と過んよといかある悲哀恐慌の場合に至るべき歟</p>
<p>補足・用語説明</p> <p>・「焼眉の急」：危険が間近に迫ってきていることのとたとえている。 ・「拮据する」：仕事に励むこと。 ・「閑暇」：暇なこと。 ・「座して饑を待つ」：何もせず飢えるのを待つ ・「鄙意」：意見（自分のことをへりくだった表現） ・「糊する」：生計を立てる ・「譬えんに」：例えは</p> <p>本記事は一八八六年（明治一九）三月一七日の社説で、松方デフレ下における県内の悲惨な状況を伺い知ることが出来る。後半では、貧民救済の方法について述べられている。</p>	<p>B</p> <p>或る局部に於て行ひたる救貧就産の方法則ち男には草鞋草履繩類と作りせ女には綿糸半縮類と爲さしむるが如きも利損相償はむこの勞働は却て義舉資本の消費と促す者されむ是又策の宜しきと得たるものふあらむ況んやこの救貧區域は福井市街二十分の一に過ぎざる一小局部たるに於てとて滔々たる今日の潮勢を果して如何せむ可ぬらんや燕々接むるに鄙意ただあり一法あり則ち我々同胞が徳義上の情誼各應分の義金と謙一之きと資本に是等貧戸細民と市街一帯に關する公益の事業に使役し其勞働の報酬として此資本中より夫々今日と糊する食料と與ふるに在るのみ公益の事業之れは細數せんに之夥多あるべと雖もまづこれと譬へんに市街道路修繕の如きあり中島堤防修築の如きあり</p>

＜発問例＞

- 問1 不景氣に苦しむ福井市民の状況について、Aの部分から大まかに読み取ろう。
- 問2 Bの前半部分には、「或る局部」の貧民救済の方法の例が述べられているが、どのような方法か。
- 問3 筆者が提案する貧民救済の方法とはどのようなものか、Bの後半部分から読み取ろう。
- 問4 本記事で紹介されている方法以外に、景氣対策としてどのような方法が考えられるか。


図3 新聞ワークシート3「福井小学校運動会」

<p>『福井新聞（第1次）』1887年10月19日3面</p> 	<p>補足・用語説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 一八八六年（明治十九）發布の「小学校令」では、小学校を尋常小学校と高等小学校（ともに修業年限四年）の二段階とし、尋常小学校が義務教育とされた。なお、当時の福井県の就学率は男子が六割、女子が二割程度であった。 「福井小学校」：福井小学師範学校附属小学校。 「搏飯」：むすび。握り飯のこと。 「喇叭」：ラッパ 「履聲」：履物の音。歩く音。 「愛宕山」：足羽山のこと。 「嶮路」：けわしい道 「東瀛西輪」：東軍西軍勝つたり負けたり
A	
<p>○福井小學校運動會の記 此日や近來稀なる快晴にて喧和なる事春の如き生徒無慮六百五十余名搏飯用意にて午前八時体操場内に整列し隊を分ちて十となり一年生を先導第三隊は萩原訓導第四隊は市橋訓導第五隊は浅井訓導第六隊は三澤訓導第七隊は田代訓導第八隊は郡谷訓導第九隊は野村訓導第十隊は今立訓導各指揮の任に當り勝山校長田川校務掛藤田訓導田邊訓導之れが監査員たり蓋し第十隊生は動植物採取の任を擔へり同九時十五分喇叭一聲發を報し体操教師村上氏進めの令を下し四列隊にて校門を出で途を木田口に取り十時蕪屋に着し庭苑内にて歩憩此間隊列正しく堂々肅々として秩然紊れを離履聲を聞くのみ同二十分二列隊となき花堂村端に出づれば稻田万頃眼を遮り香風徐々袂を襲ふ豊兆とすべきなり其れより西に折れて石が谷を經築が越を度り山奥に出で愛宕山三十三間堂に達する時十一時三十分なり樹陰深き處に就て涼を入る此間田徑を沿ふも歩亦紊れを時或は軍歌を誦せば呼聲山谷に應へ頗る雄氣の凜々たるを覺へり十一時五十分招魂社境内に抵り解散午餐となす午後一時なる頃ひ田川吉田二女教員女子八十有名を率ひ此に會せり蓋し女子は嶮路危ふきを以て男生に伴はざりま餐後憩後隊を分ちて旗巻綱引競走等の技を爲す東瀛西輪歎聲樹を動す女子亦旗取早走等の技あり畢りて三時四十分二列隊にて境内を出で歸に就く路を前路に取らざるまて九十九橋を渡り本町を經て校内に入るとき四時十五分なり喇叭聲を報して一統退散せり時に明治丁亥十月十五日なり</p>	

＜発問例＞

- 問1 運動会を全国の小中学校に奨励した初代文部大臣は誰か。
- 問2 記事を読んで、この日の運動会の時程と内容を簡潔にまとめよう。
- 問3 現在の運動会とのちがいを挙げてみよう。
- 問4 海外には日本の運動会のような学校行事はあるのだろうか。調べてみよう。

図4 新聞ワークシート4「コレラ蔓延」

<p>『福井新聞（第1次）』1886年8月1日1面</p> 	<p>補足・用語説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「虎列刺」：行政区のこと。 ・「避病院」：伝染病の隔離所のこと。 ・「到處」：いたるところに ・「隠掩」：隠すこと。隠ぺい。 ・「黄旗先導ヲ為シテ」：黄色の旗の先導で ・「自寓」：自宅のこと。 ・「喋々」：噂話すること。 ・「無知蒙昧」：知恵や学問がなく、愚かなさま。 <p>虎列刺（コレラ）は代表的な経口感染症の一つで、小腸に定着・増殖したコレラ菌によって起こる急性腸炎である。一八八六年（明治十九）の福井県内の患者数は六、六六三人、うち死者数は四、七七七人であった。</p> <p>本記事は、コレラが福井県内に蔓延しつつあることを嘆く社説である。</p>
A	
<p>ノ、ニ我カ地方政廳ハ是レガ豫防ニ於ケル最モ精神ヲ注カレ検査本部ヲ警察本署ニ移シ苟クモ警察分署アルノ邑驛ニハ必クス検査支部ヲ設ケ且ノ分署無キノ邑驛ニ於テモ必要ト認メラル、所口ヘハ之レヲ増置シ且ツヤ避病院ノ如キモ到處ニ之レヲ設ケサル莫クノ取締法ノ精密ニシテ嚴重ナル大ニ吾人ノ精神ヲ強カラシムルハ吾儕ノ感謝ニ堪ヘサルトコロタルニ拘ハラズゴノ一兩前日ニ至リ本日ノ虎烈刺彙報欄内ニ掲ケンコトク驚ロク可キ高度ニ増加セルハ紳モ何アヤ蓋シ吾儕ノ見ルトコロニ依テ考察ヲ致ルニ前號未履報欄内ニ於テ注意ヲ讀者ニ呈セル如ク兎魚隠蔽セントスルニ返々タルト將々自衛ノ精神ノ乏シキトノ二因則チコノ蔓延ヲ助クルモノナルニ似タリフノ醜態セントスルニ斯クモ熱中スルハ何故ナルヤヲ尋ヌルニ醫師ヲシテ診察セシムレハ直ケニ検査部ヘ届ケラレ自寓ニハ黄紙ヲ貼シテ人々ニ忌ム可キ虎烈刺ニ罹リシヲ喋々セラレハ死亡ノ後ノ葬送ニ於テモ正式ヲ以テスル能ハサルノ感アルカ故ニワノ力ノ及ビ得ル限リハ之レヲ隠蔽シ若クハ醫師ニ賄賂シテフノ他病タルヲ証センメントスルニ至レルモノニシテフノ等社會無知蒙昧ノ輩ノ如キハ避病院ヲ待遇診察ノ行届ケルヲ知ラスシテ護リニ選病院ニ入レハ必クス死亡スルニ決シタルモノ</p>	

＜発問例＞

- 問1 コレラ対策として、行政側はどのような対策をしてると書かれているか。
- 問2 患者数が「驚ロク可キ高度ニ増加セル」要因について、記事ではどのように考察されているか。
 - (1) 感染したことを（ ）しているため。
 - (2) 人々の（ ）の精神が乏しいため。
- 問3 人々が危惧していたコレラ診断後の処遇について、記事の後半部分ではどのように書かれているか。
- 問4 感染症に対する行政側の対応や人々の行動について、明治時代と現在を比較し、ちがいや共通点を考えよう。

(2) タブレット端末を利用した活用案

ここでは、タブレット端末を用いた新聞の活用法を提案する。事前準備として、「授業等で活用できる明治の新聞記事一覧」(表3)をダウンロードし、生徒が利用できる共有フォルダ等に格納しておくことで効率的である。

インターネットに接続していれば、記事名をクリック(タップ)するだけで「デジタルアーカイブ福井」の新聞画像ページに移動する。あとは生徒自身がタブレット端末を操作して、新聞記事を読んでもいけばよい。先ほどの新聞ワークシートと比べると、作成・印刷・配付の手間が省けるので、こちらのほうがより手軽に導入できるのではないだろうか。

デメリットは、読ませたい部分だけを切り取ったり、あらかじめ解説文をつけたりすることができない点である。したがって、タブレット端末を用いる際は、広告や統計・名簿など比較的わかりやすい記事が適していると思われる(表4)。

じっくりと記事の内容を読み取らせたい場合はワークシート、手軽に触れさせたい場合はタブレット端末による閲覧と、状況に応じて使い分けるとよいのではないだろうか。

表4 タブレット端末利用時に適した記事

No.	分野	単元	記事名	新聞名	年月日	面	段
7	政治	憲法の制定	市制・町村制発布(全国の市と人口)	福井新報	1888年5月11日	2	1-2
	発問例	◆当時の福井市の人口は何人か。全国の市の人口順位について、現代とのちがいを調べてみよう。					
11	政治	初期議会	第1回衆議院議員選挙当選者	福井新報(第2次)	1890年7月8日	2-3	1-5、1-2
	発問例	◆福井県からは誰が当選しているか。全国の当選者から著名人を探してみよう。					
17	経済	近代産業	養蚕伝習生募集 群馬県より講師招聘	福井新報	1889年4月27日	4	5
	発問例	◆なぜ群馬県から講師を招いているのか。福井県の絹織物業生産額が全国1位となるのはいつ頃か調べてみよう。					
20	経済	近代産業	明治20年度労働者賃金	福井新報(第2次)	1890年11月26日	2	1-2
	発問例	◆どの業種の賃金が高いか。平均賃金はいくらか。現代の感覚でどれくらいの金額か調べてみよう。					
29	社会	探究学習等	束髪用のびん付油、香油広告	福井新報	1888年4月28日	4	3
	発問例	◆絵の中の男性と女性の服装や髪形で気が付くことは何か。このような広告が登場した時代背景は何だろうか。					

(3) 新聞記事検索の活用

最後に、「授業等で活用できる明治の新聞記事一覧」以外の記事を利用する場合の検索方法について紹介する¹²⁾。例えば、コレラ関係の記事を検索したい場合は、以下a~eの作業を行う。

- a 「デジタルアーカイブ福井」(資料検索)から「詳細検索」を選択し、「新聞」をクリックする。
- b 新聞検索画面で「新聞記事」にチェックを入れる(画像3)。
- c 年月日に、1882年8月1日~1891年6月30日と入力する(和暦でも可能)。
- d フリーワードに、特定の用語(この場合は「コレラ」)を入力し、検索ボタンを押す。
- e 67件の記事がヒットするので(2021年1月22日現在)、閲覧したい記事を選ぶ(画像4)。

画像3 新聞記事検索画面

選択/No	サムネイル	資料種別 / タイトル / 資料情報
<input type="checkbox"/> 1		新聞記事 【新聞名】福井新報 【年月日】1888年(明治21)08月12日 【記事】武生通信 開校 診察 警察署 (新設) 開札 (南条今立郡高屋内の堤防修繕受員工事) 【新聞号数】1982,【号外】(未選択),【朝夕】(未選択) 【複製本番号】S00062
<input type="checkbox"/> 2		新聞記事 【新聞名】福井新報 【年月日】1888年(明治21)10月06日 【記事】三方通信 農家の準備 業人演劇 舞虎列拉 天主教講義 (新設) 【新聞号数】2028,【号外】(未選択),【朝夕】(未選択) 【複製本番号】S00064

画像4 新聞記事検索結果画面

67件のうち、例えば1888年8月12日の『福井新報』で「コレラ誤診」に関する記事を閲覧したいとする。しかし、ここで記事をクリックしても日付や掲載面・段などが表示されるだけで、画像ページには移動しない。「デジタルアーカイブ福井」のシステム上の問題で、「記事検索」と「新聞検索」が連動しておらず、それぞれが独立したものとなっているためである。したがって、新聞画像にたどり着くためには、この後さらに以下 f～i の作業を行う必要がある。

- f 新しいタブやウィンドウで再び新聞検索画面を開き、「新聞」にチェックを入れる (画像5)。
- g 年月日を「1888年8月12日～1888年8月12日」とし、検索ボタンを押す。
- h 該当の新聞がヒットする。この場合は1888年8月12日の『福井新報』1件のみ (画像6)。
- i サムネイルの画像をクリックすると、新聞画像ページに移動する。

画像5 新聞検索画面

選択/No	サムネイル	資料種別 / タイトル / 資料情報
<input type="checkbox"/> 1		新聞 【新聞名】福井新報 【年月日】1888年(明治21)08月12日 【新聞号数】1982,【号外】(未選択),【朝夕】(未選択),【圖】1-4 【複製本番号】S00062

画像6 新聞検索結果画面

以上のように、やや手間がかかるが、この方法でより多くの新聞記事を閲覧することができる。ただし、記事検索ですべての記事がヒットするわけではない。文書館職員が新聞記事を1件ずつ拾ってデータベースに登録しているが、膨大な作業であるためすべての記事を網羅できていない。なお、今回画像を公開した明治前期の新聞については、2020年12月末現在で8,822件の記事が登録されており、今後さらに登録件数を増やしていく予定である。

おわりに

最後になるが、今回公開した新聞記事を実際に授業等で活用した感想・意見や、地域資料に関する要望などがあれば、ぜひ文書館へ寄せていただきたいと思います。少しでも教育現場のニーズに応えた支

援ができるよう、今後も地域資料の教材化に励んでいきたい。

〔付記〕本稿の作成にあたり、中村賢氏（大野高等学校教諭）に御協力・御教示いただいた。深く謝意を表したい。

注

- 1) 文化庁長官裁定制度については、長野栄俊・田川雄一「文化庁長官裁定制度による明治期地方紙のインターネット公開」(カレントアウェアネスE、No.394、2020年7月9日)や、拙稿「文化庁長官裁定制度を用いた地方新聞画像のインターネット公開とその反応」(『図書館雑誌』2021年1月号)を参照されたい。
- 2) 『福井新聞(第1次)』1886年9月2日。
- 3) 『福井新聞(第1次)』1886年11月23日。
- 4) 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編』によると、資料保存利用機関と学校教育との連携を通して、資料の保存・保全などの努力が図られていることを子どもたちに気づかせ、地域の文化遺産を尊重する態度を養うことが強調されている。
- 5) 『福井県史』通史編5、近現代一、1994年。なお、『福井県史』通史編5に加え、池内啓氏の論文「第一次福井新聞考(一)―改題から廃刊まで―」(『福井県史研究』第7号、1990年)および、「一地方新聞の軌跡―第2次福井新聞の1年9か月と南越倶楽部―」(『福井県文書館紀要』3、2006年)を参考とした。
- 6) 福井県文書館ホームページ「学校で使える資料」(<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/category/gakkoushiryou/493.html>)に掲載。
- 7) 福井県文書館ホームページ「学校向けアーカイブズガイド」(<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/category/gakkouarchives/912.html>)を参照。[2021.1.22参照]
- 8) 『福井県史』通史編1～6は、福井県文書館ホームページの「デジタル歴史情報」(<https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/bunsho/category/digitalrekishi/147.html>)から閲覧できる。[2021.1.22参照]
- 9) 今回公開した新聞画像には、権利者不明のため著作権保護期間が満了していない署名記事も一部含まれているが、授業等のため必要な範囲内であれば、著作物を複製し配布することが認められている(著作権法第35条)。なお、新聞画像利用の際には、「デジタルアーカイブ福井」から掲載した旨を表示するようご協力いただきたい。
表示例:『福井新聞(第1次)』1882年12月6日(デジタルアーカイブ福井より)
- 10) 図1～4のワークシート作成にあたり、『福井県史』通史編5に加え、『福井市史』資料編10(福井市、1991年)および、山本志保氏の論文「明治前期におけるコレラ流行と衛生行政―福井県を中心として―」(『法政史学』56、法政大学史学会、2001年)を参考とした。
- 11) 前掲6)参照。
- 12) 新聞検索機能については、YouTube「福井県文書館チャンネル」(<https://www.youtube.com/watch?v=OGXaBQIGH8I>)でも解説しているので、参照されたい。[2021.1.22参照]